

第三回 高知県・徳島県 地すべり対策研究会の開催について

令和6年2月1日(木)、2日(金)に国、高知県、徳島県の農業・治山・砂防部局と有識者委員とで、「第三回高知県・徳島県地すべり対策研究会」を高知県にて開催した。

初日は、行政機関による取組説明を行い、有識者からは地すべりに関連する最近の研究成果等を発表し、質疑応答を行うなど、技術情報を交換し合った。

また、2日目には、越知町小日浦地区の地すべり防止事業の実施箇所にて現地視察を行った。

本取組を通して、地すべり対策技術の向上や普及を推進し、土砂災害の防止に万全を期して参りたい。



研究会の様子



県からの取組説明



国からの取組説明



有識者からの研究発表

● 小日浦地区地すべり現地視察

令和6年2月2日(金)、越知町の小日浦地区において、地すべり防止事業の現地視察を行った。

現地説明を行った後、地すべりにより発生した頭部段差亀裂を確認した。亀裂痕から地質や土質、地すべりの発生原因等について参加者同士で議論が交わされた。



小日浦地区の遠景（正面）



現地説明の様子



パネルでの説明（ボーリングコア、図面）



小日浦地区の頭部の様子



頭部段差亀裂の確認の様子



頭部段差亀裂の状況